

**創業 15 周年にコーポレートミッションを一新
データサイエンスを活用した新たな価値共創への取り組みにも着手**



データサイエンスで未来をつむぐ
We are the CATALYST.

ALBERTは、データサイエンスで世界をつなぎ、より良い未来のために新たな価値を共創します

株式会社 ALBERT（アルベルト、本社：東京都新宿区、代表取締役社長：松本壮志、以下 ALBERT）は、創業 15 周年を迎える 2020 年 7 月 1 日、これまでの経営理念に代わり「データサイエンスで未来をつむぐ」という新たな MISSION を策定しました。新たな MISSION のもと、より良いサービスを提供できるよう一層精進してまいります。

また、未来のデータの価値共創のため、新たに先進技術開発の専門チーム発足やデータサイエンティスト育成支援事業の提携先以外への提供開始、当社戦略パートナーとの関係深化による共同プロダクト開発の促進などに着手しています。

■成長に伴う組織拡大で新たな方向性を議論

2018 年 12 月期より新たな経営体制のもと戦略変更を行なった ALBERT では、初年度から黒字化を達成し 2 年で売上高が約 3 倍と急拡大し業績が安定する一方で、従業員数も約 2 倍（データサイエンティスト数は約 3 倍）に増加しました。そこで、改めて企業としての存在意義を認識し、継続したケイパビリティ拡大を実現していくため、マネージャーを中心に会社の目指すべき方向性について議論を重ね、新たなコーポレートミッションの制定を行いました。

■MISSION に込めた想い

データサイエンスで未来をつむぐ

We are the CATALYST.

ALBERT は、データサイエンスで世界をつなぎ、より良い未来のために新たな価値を共創します。

【つむぐ】

過去に得られたデータは、それだけではただの情報の集合体です。わたしたちは、データサイエンスでそれを寄り集め、つむいでいくことで、より良い未来につながる新たな価値を共創していきます。

【ひとりひとりが“CATALYST（カタリスト）”として】

ALBERT では「CATALYST（触媒）戦略」を掲げ、産業間の AI・データシェアリングによる AI ネットワーク化社会の実現を目指しています。“CATALYST”には、「触媒」という意味のほか、「加速させるもの」「相手にきっかけや刺激を与える人」という意味があります。わたしたちは、AI の社会実装を通して、産業間に新たな化学反応を起こし、変革をもたらす“CATALYST”でありたいと考えています。

■未来の共創に向けた ALBERT の新たな取り組み



先進・先端技術開発を行う専門チーム組成。技術開発支援を開始。



データサイエンティスト育成支援を提携先以外にも拡大。



CATALYSTパートナーの拡大と提携先との共同プロダクト開発促進。

■株式会社 ALBERT

所在地：東京都新宿区北新宿2丁目21-1

設立日：2005年7月1日

代表者：代表取締役社長 松本壮志

証券コード：3906（東京証券取引所マザーズ）

事業内容：データソリューション事業

AI活用コンサルティング / ビッグデータ分析 /

AIアルゴリズム構築とシステム開発・運用 / AIを用いた独自プロダクトの提供 / データサイエンティストの育成支援

Albert
Analytical technology

【本リリースに関するお問い合わせ先】株式会社 ALBERT 経営戦略部 鈴木

TEL 03-5937-1610 ホームページ：<https://www.albert2005.co.jp/>